

ガーナでそろばんプロジェクト 71号(2018年 2月9日)

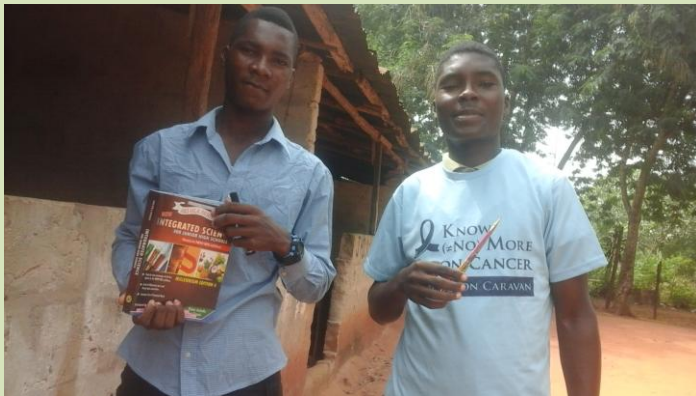
★★ 喜びだけがエネルギーではなく悔しさ怒りも私のエネルギー★★

2月に入り、また強い日差しの戻ってきたガーナです。というのも、1月はハマターンの時季で日中の太陽は西サハラ砂漠から偏西風に乗ってくる砂の影響で白く見えます。毎年少しのずれはありますが、今年は1月3日から6日もっともハマターンが強い期間でもありました。そんな期間にそろばん教室はありました。ハマターン期の教室は砂で机が白くよこれ埃っぽいです。毎年毎回の事といえどもやはりこれには慣れません。また誰も自由に入れる教室は時々、ニワトリ、犬、山羊の糞が教室に落ちていることも珍しくありません。ただ今回はとても悲しいことがありました。人糞が机の角に残されていました。コンスタントが臭いに気づき教室を変更したのでした。わざわざ机の角にする？最初は怒りいっぱいでありましたが考えれば考えるほど悲しくなってきました。この日はコンスタントの7級検定の日でもありました。※コンスタント7級合格の事は前号にてお伝えしています。“アフィシャパ”と私がガーナ語の新年の挨拶をした後に照れながら“トシコ、ハッピーニューイヤー”と照れながら応え掃除に取り掛かろうとした時の出来事でした。教室運営の事だけを考えるだけだったら、素直に純粹に子どもたちの進捗や成長を喜び、目標を掲げ進むことが出来るのに、直面する問題も多々起こります。朽ちている垣根の塀から時折、村人が通ります。平日の学校のある時にはもちろん壊れた垣根から入り通行する村人はいませんが、休日ともなると、こうした光景があるのです。ニワトリ、犬、山羊の糞が落ちてはいる以外は、絶対に慣れてはいけなさと感じています。1月のそろばん教室の開室はこの日一日だけとなってしまいました。私のビザの関係です。当初12月の後半にビザ申請が出来ると予定でしたが、必要書類に不備があり足止めとなってしまいました。一時帰国からガーナに戻って直ぐに取り掛かったビザ更新に必要な書類が半年近くかけてもなかなか出来ず、その上

不備があったとなると、本当にどこに悔しさや怒りをぶつけたらいいのかわからなくなります。悔しさや怒りも私のエネルギー源となっています。ただただ悔しがるだけでなく怒るだけでなく手法を変えるチャンスとして受け止めたいです。1月後半ようやく書類が揃いビザ更新申請を出すことが出来ました。2月に入りやっと活動を再開することが出来ました。2月のそろばん教室の開室予定は3回です。季節の変わり目を知らせる大雨がそろばん教室の日に降らないことを願います。ギティオン、1300回皆勤賞まであと13回登室。コンスタント1000回皆勤賞まであと15回登室。子どもたちの成長を喜び、つぎなる目標をたて、悔しさや怒りに直面した時はチャンスに変える、まだまだやるべきことがたくさんあります。

報告 TOSHIKO

75回皆勤賞のパトリックと7級合格のコンスタント兄弟 一月四日撮影



協賛

トモエそろばん様